

1:50,000 地形図
つせいぶ

N1-53-8-12
(名古屋12号)

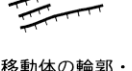
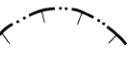
地すべり地形分布図 津 西 部

Landslide Map of TSUSEIBU



凡 例

輪郭構造
滑落崖と側方崖



新鮮または開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖

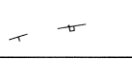
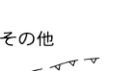
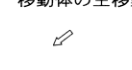
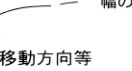
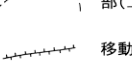
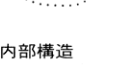
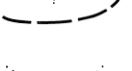
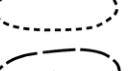
開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖

中・緩斜の流れ壁すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。

後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界



後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能

後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土塊）が残存している

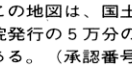
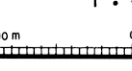
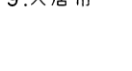
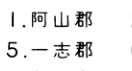
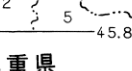
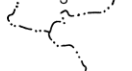
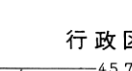
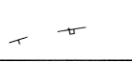
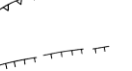
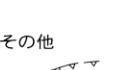
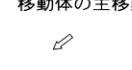
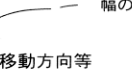
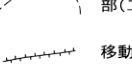
ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・削剥域下限

内部構造



二次・小滑落崖、産線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす

サブユニットの境界、内部（二次）移動体輪郭

移動体内の小尾根

幅の広い溝状凹地、亀裂

幅の狭い溝状凹地、亀裂

進行亀裂

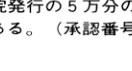
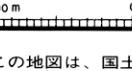
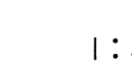
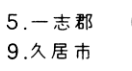
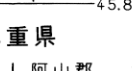
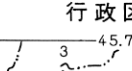
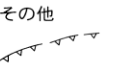
線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向

池

水のない窪地

膨隆地の前線

移動方向等



すべり

クリープ（匍行）

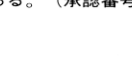
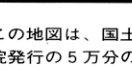
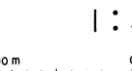
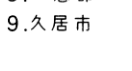
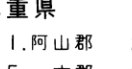
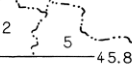
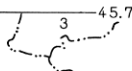
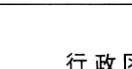
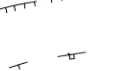
流れ・押出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他



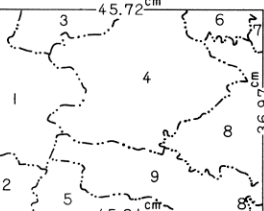
通急線

活断層（地すべりを変位させている顕著な断層）

地層面等および節理・断裂の走向・傾斜

行政区画

索引図



()内は所属20万分1図の図名

- 三重県
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1.阿山郡 | 2.名賀郡 | 3.鈴鹿郡 | 4.安芸郡 |
| 5.一志郡 | 6.龜山市 | 7.鈴鹿市 | 8.津市 |
| 9.久居市 | | | |

1:50,000 津 西 部

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平16総複、第 514 号）」